

当社は、2026年7月に創立20周年を迎えました。この節目に企業理念体系を見直し、「未来に、かたちを。社会に、力を。」を新たなパーパスとして定めました。併せて、2035年に向けた「長期ビジョン」を初めて策定しました。

気候変動対策、資源循環の促進、社会インフラの老朽化、自然災害の激甚化、そして生産年齢人口の減少による人手不足の深刻化など、社会を取り巻く課題は一層複雑化しています。こうした課題に真正面から向き合い、持続可能

な社会の実現に貢献していくことが、社会・産業インフラを担う私たちの使命であると考えています。

当社はこれまで、中期経営計画「2025目標と戦略」のもと、「カーボンニュートラル社会の実現」と「国土強靱化」への貢献を重点方針に掲げ、事業を推進してまいりました。社会・産業インフラの設計・調達・施工（EPC）、システム建築商品や免制震デバイスといった部材供給、納入したプラント設備の操業・維持管理（O&M）、さらには再生可能エネルギー

導入促進・有効活用支援など事業領域を拡大し、インフラのライフサイクル全体を支える企業へと進化しつつあります。

2035年に向けた長期ビジョンでは、「脱炭素化」「資源循環」「レジリエンス」の3つを価値創出領域として定めています。これらを相互に連携させながら、次世代のエンジニアリングによる新たな価値を創出することを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

TOP MESSAGE

20年の実績を糧に、 次なる飛躍へ



TOP MESSAGE

脱炭素化分野では、昨年1月「北九州響灘洋上ウインドファーム」向けにジャケット式基礎25基を納入しました。若松工場では「GXサプライチェーン構築支援事業」を活用し、国内最大級の大型クレーンを導入するなど設備投資を行い、2030年までに浮体式基礎の量産に対応可能な製造拠点を構築します。また、CCS分野では、CO₂分離・回収から輸送、液化、貯蔵、圧入、貯留までを含めた一貫対応体制を整えました。さらにEPCにとどまらず、オンサイトエネルギー供給事業や太陽光発電・蓄電設備の最適運営サービスなどを通じて社会全体の脱炭素化に貢献しています。

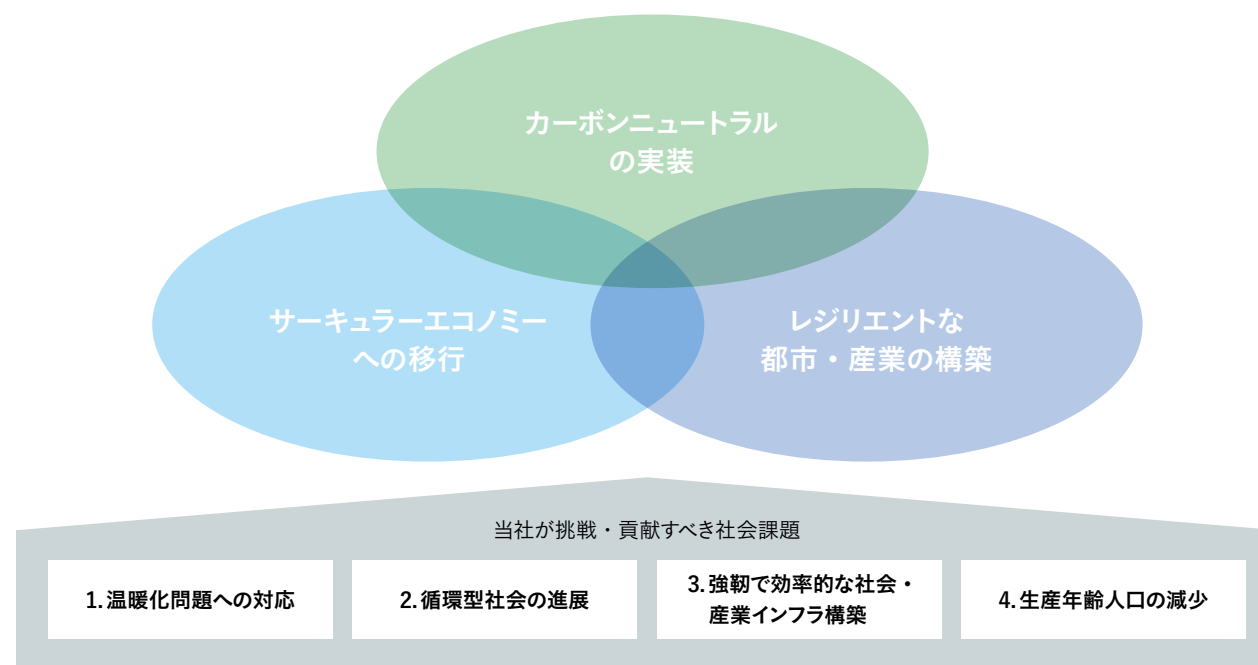
資源循環分野では、廃棄物発電施設の操業・保守事業を全国で展開し、シャフト炉式ガス化熔融炉をはじめとする環境プラント技術により、廃棄物を資源として循環利用するとともに、地域エネルギーとして活用する取り組みも進めています。また、下水汚泥バイオマス燃料・肥料として活用するジェイコンビ®についても全国で8件目となる松山市の施設が竣工・運営を開始し、循環型社会の構築に貢献しています。

レジリエンス分野では、当社の強みである鋼構造技術を活かした取り組みを推進しています。独自の鋼構造設計ノウハウと免制震技術を組み合わせた物流施設は、産業と生活を支えるインフラとして着実に実績を重ねており、この強みを活かして近年需要が高まっているデータセンターやレンタル・ラボへ事業領域を広げています。あわせて、港湾施設の更新や橋梁保全サービス、免制震デバイスの供給拡大を進めており、これからも災害に強く持続的に機能する社会インフラの構築を支えてまいります。

そしてこれら3つの領域における新たな価値創出を支える鍵となるのがDXです。当社では、設計から施工、そして操業・保守に至るまでデジタル技術を活用し、情報をシームレスにつなぐスマートエンジニアリングを推進しています。また、

全国60カ所を超えるO&Mの現場で蓄積した知見・データを活かし、稼働後もソフトウェアのアップグレードなどで進化し続けるプラントを目指すThink Plant®構想にも取り組んでいます。

複雑化・高度化する課題に挑戦し、 次世代のエンジニアリングで持続可能な未来をデザイン・実現する



※「レジリエント」には、①物理的な強靱性や災害時の回復力のみならず、②効率性等の競争面での強さ、③人手不足・老朽化が進む中での社会・産業の持続性を含む。

※「インフラ」とは設備（ハード）のみならず、社会や産業を支えるシステム・機能（ソフト）を意味する。

TOP MESSAGE

こうした価値創出を支える基盤として、品質、安全衛生、コンプライアンス、環境、調達、人権、人財、そして社会貢献に対する当社の方針をまとめた「サステナビリティ基本方針」のもと、事業活動を推進しています。また、日本製鉄グループの一員として、グループ共通のコンプライアンス基盤の強化にも継続して取り組んでいます。

さらに、社会の持続的な成長には次世代を担う人財育成が不可欠との認識から、2015年よりSTEAM教育プログラム「情熱・先端 Mission-E」を継続して実施しており、中

高生を対象にエンジニアリングの魅力を伝える活動に取り組んでいます。また、厚生労働省の子育てサポート企業認定制度において2025年に特例認定「プラチナくるみん」を、2026年にはさらに高い基準を満たす「プラチナくるみんプラス」を取得しました。今後も多様な社員が専門性を高めながらいきいきと活躍し続けられる組織風土づくりと、ダイバーシティ推進に取り組んでまいります。

エンジニアリングに携わる企業として私たちが果たすべき役割は、脱炭素化・資源循環・レジリエンスといった課題

に対し、長年にわたって培ってきた技術・知見と最新のデジタル技術を融合させながら新たな仕組みや価値を社会に実装していくことにあります。

20年の実績を糧に、次なる飛躍へ。今後もステークホルダーの皆様との対話を大切にしながら、持続可能な社会の実現と企業価値向上の両立に取り組んでまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
石俣 行人

Ⅰ 価値創造プロセス

